

世田谷区立京西小学校 講演会 レジメ  
AI時代を生き抜くために  
失敗してもくじけない子どもに育つ「失敗力」の育てかた

2018.11.22

① 子ども達はどんな未来を生きる  
ことになるんだろう？

～できるようになったこと 成長を感じたこと～

- ・
- ・
- ・

② AI時代を生き抜くために必要な  
力ってなんだろう

③ 日本の教育も変化！？

④ AI時代を生き抜く力を育てるため  
の親の関わり方

質問カワーク



お子さんにどんな未来を望みますか？

今はまだ目の前の成長のひとつひとつや勉強や受験に追われているかもしれませんが、未来に思いを馳せてみて下さい。子どもたちが成長して大人になるころ、AIの進化で約50%が今はない職業になっている可能性が高いと言われていの中で、ひとりひとりが自分の強みを発揮して、たくましく幸せに生き抜いてほしいと思いませんか？ 今後さらに急速に変化する社会の中で、よりよい未来をつくる人材に育ててほしい。そんな望みをかなえるためには、自分で自分の未来を探究する力が必要です。そんな力を持った子どもを育てるためには、親自身が、よりよい未来をイメージし、デザインする力を磨かなければ！ 子育ては、人材育成のプロジェクトです。だから、【母×デザイン力=子どもの未来】溢れる情報に翻弄されて不安になりがちなお母さんが、最新の知見や子育て経験者の知恵から学ぶことで、視野を広げて自信を持つ。そして、自分らしい子育てをデザインする力が育つ。新しい発見と成長の場、それがMother Questです。

MotherQuest

## マザークエストとは

私達は、子育てを「未来を創る人材の育成」だと考えています。

そんな価値ある仕事をしている親たちを応援し、

発見と成長の場を提供するプラットフォーム、それがマザークエストです。

## 探究によるお母さんの成長

マザークエストの一員になって、いっしょに探究の旅に出かけましょう。

### HOP

マザークエストメンバーになるマザークエストでは、あなたの子育てをハッピーにする、6つの栄養素を提案しています。

### STEP

公開授業や実践講座に参加 専門家の知見や子育て経験者の知恵から学び視野を広げ、確かな軸を作っていきます。

子育てや教育への不安  
思うようにはならない子育てや、  
あふれる情報に振り回されて  
不安になっていませんか？



不安



気づき

Jump!

探究



## JUMP

同じ志を持つ仲間とつながる  
6つの栄養素を手に入れ、  
仲間とつながり、  
クエストマザーとして活躍！

## 自信

クエストマザーとして、人材育成のプロジェクトに取り組みます。



クエストマザーとは：自分自身が学び成長し続けるお母さん。より良い未来を創るキーパーソンです。

あなたもマザークエストメンバーになりませんか？

メンバーの方には毎月2回メールマガジン「マザクエ通信」を配信いたします。

「マザクエ通信」では代表中曽根陽子のコラム、スタッフ通信のほか、セミナーなどのプログラムを一足早く告知いたします。また、メンバー限定の特典や情報も配信いたします。登録は無料です。

登録はこちらから



マザークエスト代表  
中曽根陽子

小学館を出産のため退職後、1994年、子育て中のママたちが子どもと一緒にあそび場をチェックし紹介する『子どもとでかける大阪あそび場ガイド』（メイツ出版）を作成。今なお改定版を重ねるロングセラーとなりシリーズ累計50万部超。その後のあそび場ガイドシリーズ全国展開の先駆けとなる。女性のネットワークを活かした編集・取材活動を行う、情報発信ネットワーク「ワイワイネット」を発足。以後「お母さんと子どもたちの笑顔のために」をコンセプトに、数多くの書籍をプロデュース。現在は教育ジャーナリストとして、教育雑誌から経済誌、日経Bizアカデミー、学研キッズネット、ビジネスジャーナルなど紙媒体からWEB連載まで幅広く執筆する傍ら、海外の教育視察も行い、偏差値主義の教育からクリエイティブな力を育てる探求型の学びへのシフトを提唱。2014年より、慶応義塾大学大学院システムデザインマネジメント科ヒューマンラボ研究員。親子の幸福度の相関などをテーマに研究活動も行っている。2女の母。

近著に『一歩先行く中学受験 成功したいなら「失敗力」を育てなさい』（晶文社）『子どもを伸ばす眠りの力』（wave出版）『ママが子どもを地震から守るための本』（メイツ出版）『後悔しない中学受験 最新版』（晶文社）、『おかあさんのための はじめての中学受験必勝ガイド』（メイツ出版）『子どもがバケの学校を探せ！ 中学校選びの新基準』（ダイヤモンド社) など多数



### 第30年度 第3回家庭教育学級(講演会)報告書

平素よりPTA活動へのご理解、ご協力いただきまして誠にありがとうございます。

さて、11月22日(木)に京西小学校多目的室にて、第3回家庭教育学級として、教育ジャーナリスト マザークエスト代表 中曽根 陽子氏をお招きして【AI時代を生き抜くために】～失敗してもくじけない子どもに育つ「失敗力」の育て方～講演会を開催いたしました。

当日は、ご来賓に世田谷区教育委員会・社会教育指導員の藤本様、久末校長を加え、約40名の保護者の皆さまにご出席頂きました。

テーマに沿った漫画を使い分かりやすくレクチャー頂き、また、ワークを交えて楽しい雰囲気の中で進めることができました。

親が色々とお膳立てしすぎたりすることにより子供が自立していないのではないかという問題点の提起から始まり、AI時代を生き抜くために必要な21世紀型能力の育成キーワードは、探求心であり、親からの考えを押し付けるのではなく、子ども自身に考えさせることの重要性について説明がありました。その結果、子育てのゴールである、子どもの自立につながる事が大事であるということ学びました。

ワークでは、宿題をしたのに学校に持っていき忘れた子供に対する親の接し方について二人一組になってロールプレイングを行いました。最初は、「なぜ忘れてしまったのか(WHY)」と子供役の方に問い詰めてしまった方が多かったのですが、講師のアドバイスにより、今後は、「これからはどうすればこのようなことが起きずに済むか(HOW)」を考えることが大事であることを学びました。

子育ては、未来を創る人材の育成であることを学び、親である我々も日々の反省を含め色々と考えさせられる貴重な時間になりました。なお、当日参加された方のアンケートを別紙【アンケート結果】のとおりまとめましたので、併せてご覧ください。



## 【アンケート結果】

- ・今からでも遅くない！の言葉を信じて、改めて前向きな声掛けで楽しく日々を送ろうと思いました。
  - ・小さい頃からの声掛けが大事だとワークで改めて実感しました。今日、忘れないうちに帰宅したら直に声掛けしたいです。
  - ・貴重なお話をありがとうございました。対話式の講演で、とても楽しく子供の気持ちも実感することができました。
  - ・子供のうちに、小さな失敗を経験して、親がそれに対応する思考を促し、自分で考えて自分で行動できる人になる「くじけない力」を身に付けてほしいと思います。
  - ・子供への声掛け(結果でなく、プロセスにフォーカスしてほめる。HOW で考えさせるなど)について自分自身の日頃の態度を振り返って反省するよいきっかけとなりました。
  - ・2つのチーム(結果、プロセスにフォーカス)の実験の話は、夫にも伝えて、子供への態度を変えてほしいと思いました。(結果にこだわりすぎるので)
  - ・子供の立場になって親のしかり方を聞くワークもとても参考になり、得るものが多く良かったです。
  - ・声掛けの大切さを知り、今日から実践しようと思いました。
  - ・日頃の子供への声掛けをもっと意識して関わっていかなくてはと思いました。
  - ・自分のことを自分でできるようになるために…親のかかわり方(ついつい手をかしてしまう)を改めてみようと思いました。
  - ・声掛けの仕方、どうして→どうしたらに変えて、本人が考えて解決してもらう力を伸ばしてほしいと思いました。
  - ・「どうして」→「どうしたら」に言葉がけを変える所は、最初は自分の感情を押えて「どうして」→「どうしたら」は難しいなと思いました。が、「どうして」の「て」を「たら」に変換するだけとお話を聞き、それならできそう！と思いました。
  - ・ワークに抵抗があったのですが、席を立たずに気軽にできたのが良かったです。
- 声掛け(家庭での)の重要性、早寝、早起き、朝ごはんの土台作り、もう一度見直すきっかけになりました。
- ・日頃、否定的な言葉がけが多いので、本日学んだ事を家庭に持ち帰りたいと思います。
  - ・とても興味のある内容だったので、頷きながら聞くことができました。親が先回りしすぎではいけないとは分かっているが無意識にしていることに気づかされました。
  - ・結果だけを見る褒め方は逆効果とは考えさせられました。
  - ・親からの声掛けで子供の自立心や、失敗してもくじけない力を育てることが関わることを聞きドキッとしましたが、これからでも遅くないと信じて、声掛けを意識したいと思います。



ようがの学び舎  
用賀中学校・京西小学校・用賀小学校

保護者の皆さま

平成30年 9月吉日  
京西小学校  
PTA会長 天野 達  
文化厚生委員長 小川 美貴

## 平成30年度 家庭教育学級（3校合同）報告書

9月6日（木）用賀中学校特活室にて、ようがの学び舎3校合同家庭教育学級「尾山台すくすくクリニック児童青年精神科医 新井慎一先生 講演会」を開催いたしました。当日は用賀中学校・用賀小学校・京西小学校の3校からご来賓および多くの保護者の皆様、計170名を超える方々にご参加いただきました。テーマは「親の心が、楽になる子育て心理戦」で、新井先生が児童青年精神科医として様々なお子さんを診ていらっしゃる経験から講演をいただきました。

まず、コミュニケーションには表のコミュニケーション（言葉・態度・行動）と裏のコミュニケーション（相手の心理を読み合う心理戦）があり、現代の親は表のコミュニケーションに偏りがちだということを、先生ご自身の子育てを事例に出しながらお話していただきました。また、子育てを楽にするためには、アドラーの理論をもとにしたライフスタイル分析が有効であり、親子のライフスタイル（そのテーマを基に自分の経験を解釈して、自尊心を高める行動をすること）が分かると、親がなぜ子供に腹が立つのかがわかりお互いの理解がしやすくなる。「褒めるも叱るも適度が必要」であり、言葉だけでなく心理戦術が大切である。愛することは必ず苦痛や面倒が伴うので、子育てが大変なのは愛が伝わっているという証拠。親が自分自身を大切にしてから、子供に向かい合うことが大切。「心が楽になる」とは「心が通じ合う」ということであり、根気よく気持ちを伝えることが大切であるということを、改めて親としての心がけを教えていただきました。

（裏面の保護者アンケート回答をご覧ください）



3校合同での家庭教育学級は、3校の連携をより強化するためだけでなく、9年間 子どもたちを地域で見守っていく保護者の皆さまの共通意識を高めるため、有意義なイベントだと思います。ご参加くださった保護者の皆さま、協力いただきました先生方、ご来賓の皆さま、PTA 役員、準備でお手伝いいただいた保護者の皆さま、誠にありがとうございました

※なお、本報告書内容を含め、講演会についてのWebなどメディアへの書き込みはご遠慮ください。

→ 裏面へ続きます。

アンケートに寄せられたご感想を一部ご紹介いたします。

#### 講演会について

- ・子供のライフスタイルを考えてタイプを見つけると、自分も子供に対する接し方を少し変えられるかな？と勉強になりました。
- ・分かりやすく、時にユーモアを交えて経験談も含めて話して下さりイメージも沸きやすく、楽しくお話を伺う事が出来ました。
- ・子供にもタイプがあるので、その子にあった接し方を考えてあげられればと思いました。
- ・小さなことでも、ほめて育てることの大切さを改めて感じました。
- ・日々、子どもの変化に気づいているか、確認しようと思いました。
- ・子育ては親→子だけでなく子→親への視点も重要だと分かりました。
- ・自分の子のライフスタイルがいくつか思い当たり、目からウロコでした。  
考え方を変えるだけで心が軽くなることを主人にも話をし、子供への接し方を変えていこうと思います。
- ・言葉よりも行動の方が子供の本音、とお聞きして納得させられました。
- ・親が子供を大切にしていること、親でも階段を少しずつ上がっているんだよ、という姿を子供に見せるのは大切だとわかり、とてもためになりました。
- ・子育てだけでなく、他の人間関係でも応用できる内容だったと思います。

#### 三校合同について

- ・同じ地域で同じ講義を聞いていると思うと、共通意識が持てるという安心感があるので良いと思います。
- ・年に1,2回やって欲しい、いつも楽しみにしています。
- ・地域で共同して子育てをより良い環境で出来るようにするためには良い。
- ・三校合同で同じテーマで学ぶことは、同じ悩みを共有し、つながりを大切にする意味で良い。
- ・小、中と両方にお子さんがある家庭が多いので、共通な悩みや話が聞ける機会はありがたいです。
- ・中学校の様子もわかり、小学生の親にはいいと思います。

#### 今後取り上げてほしいテーマ

- ・子供の運動力 ゲーム(PCやDS)について
- ・勉強を嫌いにさせない方法
- ・親としてのアンガーマネジメント
- ・ゲームやネット依存を減らすにはどうすればよいか。
- ・小中学生の栄養。自宅でできるバランス栄養やひと工夫。
- ・子供をやる気にさせる方法
- ・子育てについて色々な職業の方から違ったアプローチでの講演を聞いてみたい。
- ・反抗期をどう乗り越えていくか、具体的な話を対話形式で聞いてみたい。
- ・成長期の食生活、栄養学について
- ・性教育について
- ・自然災害、防災について地域でできる対策は。
- ・子供へのコーチング(子供への声掛けの方法など)